

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第3区分

【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公開番号】特開2015-131373(P2015-131373A)

【公開日】平成27年7月23日(2015.7.23)

【年通号数】公開・登録公報2015-046

【出願番号】特願2014-4636(P2014-4636)

【国際特許分類】

B 24 B 9/14 (2006.01)

B 24 B 55/02 (2006.01)

G 02 C 7/02 (2006.01)

【F I】

B 24 B 9/14 A

B 24 B 55/02 Z

G 02 C 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

眼鏡レンズを加工するための加工工具を駆動させる駆動手段を有する加工工具ユニットと、前記加工工具と前記眼鏡レンズの少なくともいずれかに対して流体を散布する流体散布手段と、

を備える眼鏡レンズ加工装置であって、

少なくとも前記駆動手段の駆動開始時において、前記駆動手段に対する前記流体の散布を規制する流体規制手段を備えることを特徴とする眼鏡レンズ加工装置。

【請求項2】

前記眼鏡レンズ及び前記加工工具を囲む遮蔽部材によって形成された加工室であって、前記流体散布手段による前記流体の散布が室内にて行われる加工室をさらに備え、

前記駆動手段は、前記加工室の室内に配置されることを特徴とする請求項1の眼鏡レンズ加工装置。

【請求項3】

前記流体規制手段は、

前記駆動手段の駆動開始後に前記加工工具と前記眼鏡レンズの少なくともいずれかに対する流体の散布を開始させる制御手段を備え、少なくとも前記駆動手段の駆動開始時において、前記駆動手段に対する前記流体の散布を規制することを特徴とする請求項1または2の眼鏡レンズ加工装置。

【請求項4】

眼鏡レンズを加工するための加工工具を駆動させる駆動手段を有する加工工具ユニットと、前記加工工具と前記眼鏡レンズの少なくともいずれかに対して流体を散布する流体散布手段と、

を備える眼鏡レンズ加工装置において実行される眼鏡レンズ加工プログラムであって、前記眼鏡レンズ加工装置のプロセッサによって実行されることで、

少なくとも前記駆動手段の駆動開始時において、前記加工工具と前記眼鏡レンズの少なく

ともいづれかに対する前記流体の散布を規制する流体規制ステップを前記眼鏡レンズ加工装置に実行させることを特徴とする眼鏡レンズ加工プログラム。